

# 成果説明書

## 【政策 2：環境】

### 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち

【施策 2-1】 ごみの減量化と再資源化を進めます

【施策 2-2】 省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

【施策 2-3】 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します



政策2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
-----	---------------------

所 管	市民生活部
関 連	建設水道部
関 連	

◆ミッション

- ・豊かな自然環境を守り、水を保全し、ポイ捨てごみなどの無い美しい小諸をつくる。
- ・リサイクル推進、化石燃料の使用削減、省資源・省エネルギーの推進、再生可能エネルギー活用の循環型社会をつくる。
- ・環境について市民、事業者、行政とで学び合い、お互いに環境意識を高めあう。

◆方 針

- ◎豊かな森林・水資源など恵まれた自然環境を積極的に保護・活用する。  
小諸の貴重な財産である自然環境を、持続可能なものとするため、生物多様性、水と緑を保全し、自然とのふれあいを推進する。
- ◎ごみの減量化と再資源化を進める。  
省資源、省エネルギーの観点からできるだけごみを出さない生活様式への啓発を進め、ごみの分別と再資源化を進める。処理施設であるクリーンヒルこもろを環境学習の拠点として活用する。
- ◎省エネルギー政策、再生可能エネルギー普及を推進する。  
地球温暖化防止、二酸化炭素(CO2)削減のため、省エネルギー意識の啓発、省エネルギー機器の普及促進と再生可能エネルギー活用促進を図る。太陽光発電は今ある自然環境や景観との調和を図りながら推進する。
- ◎市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全する。  
公共用水域の水質を保全するため、下水道、農業集落排水の接続推進、合併浄化槽設置を推進する。省エネルギーで効率的な下水処理を図るため、処理施設の統合、老朽化対策を進める。
- ◎環境美化活動を広げ美しい小諸をつくる。  
市民、事業者、行政の協働により、市内全地域で景観美化活動に取り組み、多くの人が訪れたい、住みたい美しい小諸づくりを進める。

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- 小諸の貴重な財産である自然環境を未来につなげるため、自然を活用した取り組みを推進することにより、保護・保全を図る。
- 各区衛生委員、衛生自治会、ごみ減量アドバイザー等による、ごみ減量化・リサイクル推進等の先進的な取り組みを、広報等を利用し紹介することにより優良活動を全市に拡大していく。
- 地球温暖化防止と二酸化炭素削減のため、再生可能エネルギーの活用促進を図るとともに、「小諸市太陽光発電事業の適正な実施に関するガイドライン」等を適切に運用し、自然環境や景観と調和した太陽光発電事業を推進する。
- 地域の状況に応じた手法で快適生活率(水洗化率)を高めるとともに、下水道事業の効率的運営を図るため処理施設の統合を推進する。
- 市民、事業者等の環境意識、環境美化意識が高まるよう、環境学習等による啓発活動を強化するとともに、広報以外の情報発信について研究し、有効なものから取り組む。
- ごみ(し尿、浄化槽汚泥を含む)の質・量等の現状や将来的な見通しについて研究を行い、ごみの減量化・処理施設の運営等の長期的な方向性について検討を行う。

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
施策 2-1	ごみの減量化と再資源化を進めます

所 管	生活環境課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

クリーンヒルこもろが完成し、自前の施設で安定的なごみ処理が可能となった。今後は、環境保全協定書に定めた排ガス自主規制値等を順守するとともに、市民に信頼され親しまれる施設運営の継続が重要である。また、クリーンヒルこもろを環境教育の拠点として定着化させていくことも必要である。

◆方針

目的
豊かな自然環境を守るため、市民や企業等が、ごみの分別を徹底するよう啓発に努める。また、ごみの減量、再資源化を推進することにより、ごみ処理費用を抑制し、温室効果ガスの発生抑制に努める。 クリーンヒルこもろ周辺の環境保全を図るため、環境保全協定書で定めた排ガスの自主規制値を順守していく。

◆令和元年度重点方針と目標

ごみ減量アドバイザーを中心に衛生自治会と連携し減量化へ向けた取り組みを研究・実践する。また、ごみの減量、再資源化を推進することにより、ごみ処理費用を抑制し、温室効果ガスの発生抑制に努める。  
クリーンヒルこもろ周辺の環境保全を図るため、環境保全協定で定めた排ガスの自主規制値を遵守していく。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①ごみの分別の徹底が市民や企業等に浸透し、再資源化が推進され、ごみの排出量が減少し、ごみ処理費用が削減された状態。 ②廃棄物処理施設が安定的かつ経済的に運営され、周辺住民が安心して生活できる状態。
設 定 理 由
①市民のごみの分別に対する意識が向上すれば、資源物が適正に分別され、資源化率が向上し、資源物の増加による売却収入が増加し、ごみ処理費用の節減につながるから。 ②安定的、経済的な処理施設運営により施設の長寿命化が図られ、市民から信頼される施設となり周辺環境の保全にも寄与するから。

◆実績

令和元年度実績						評価	維持
①新聞や雑誌の発行部数の減少などから、市に排出されるごみのリサイクル率は減少傾向にあるが、店頭での資源回収など行政回収に依らない資源物のリサイクルが定着してきている。							
②世帯数の増加やライフスタイルの変化などにより燃やすごみの量は微増傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛の影響から年度後半での家庭系ごみの排出量が増加し、結果ごみの総排出量も微増となった。							
③クリーンヒルこもろは排ガス自主規定を遵守した施設運営を行った。							

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	ごみのリサイクル率(環境省が公表)						単位	%
設定理由	ごみをきちんと分別すれば、資源として循環させることができ、ごみ処理経費等の削減につながるから							
算式							単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	31.7	計画	31.8	31.85	31.9	30		
		実績	34.4	28	27			
指標名	家庭から排出される、ひとり一日当たりのごみ量(世帯数の増加により、ごみが増加している現状がある)							
設定理由	燃やすごみを減らすことにより処理費用の削減と焼却した時の温室効果ガスの削減につながるから							
算式							単位	g
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	582	計画	588	585	582	580		
		実績	582	581	586			
指標名	事業系燃やすごみの年間排出量							
設定理由	燃やすごみを減らすことにより処理費用の削減と焼却した時の温室効果ガスの削減につながるから							
算式							単位	t
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	2,022	計画	2,010	2,001	1,991	2,000		
		実績	2,194	2,210	2,215			

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

①ごみ減量アドバイザーや衛生自治会と連携し、各区での出前講座の実施や広報等の活用により市民への啓発を図り、ごみの減量化と再資源化に取り組む。							
②事業系ごみの展開調査を実施し、事業者への分別指導を徹底することにより、燃やすごみの減量化を図る。							
③クリーンヒルこもろへの定期及び随時の運営モニタリングにより、計画に基づく業務の履行を確認し運営の安定化を図る。							

◆個別計画

ごみ処理基本計画／分別収集計画／一般廃棄物処理実施計画							
-----------------------------	--	--	--	--	--	--	--

◆特記事項

--	--	--	--	--	--	--	--

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量化と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
清掃総務費運営費		継続	5			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・1清掃総務費		生活環境課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の適正処理及び資源化に関する的確な情報収集と市民への周知</li> <li>・災害廃棄物対策の推進</li> </ul>					
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		15,698 千円	15,941 千円	15,722 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	6,946 千円	6,453 千円	
一般財源		15,698 千円	8,995 千円	9,269 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	「ごみ資源収集カレンダー」の発行部数		部	計画 26,300	26,300	26,300
				実績 26,300	26,300	26,300
	衛生委員研修会の開催数		回	計画 2	2	2
				実績 2	2	1
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
<p>・ごみの排出基準等を「ごみ資源収集カレンダー」「分別ガイドブック」「広報こもろ(連載コーナー)」「市公式ホームページ」で周知した。</p> <p>・衛生委員研修会を開催し、衛生委員の役割について理解を深める機会とした。また、収集現場の状況について収集業務の受託者(事業者)の話を聞き、情報を共有するとともに、地区の活動における課題解決を図った。</p> <p>・衛生自治会交付金を交付し、地域の環境美化活動(集積所管理、不法投棄対策等)の推進を図った。</p> <p style="text-align: center;">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>・「ごみ資源収集カレンダー」「分別ガイドブック」「市公式ホームページ」のほか、コミュニティテレビこもろ等あらゆるメディアを活用し、住民に対してごみ処理の現状に関する情報提供やごみの減量化に関する啓発を行う。</p> <p>・衛生自治会理事会や衛生委員研修会では、課題解決に向けた地域の先進的な取組を紹介するとともに、現在抱えている課題を共有し、その解決策について協議を行い、それを実践する方法を検討する。</p> <p>・環境省のモデル事業の成果品をもとに、災害廃棄物処理計画の策定を進める。また、災害廃棄物対策に関するセミナーや研修会等に積極的に参加し、最新の動向や情報を収集するとともに、担当職員のスキルアップを図る。</p>						

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量化と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
浅麓環境施設組合運営費分担金		継続	3			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・1清掃総務費		生活環境課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物(し尿、生ごみ)の適正処理</li> </ul>					
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		341,185 千円	333,199 千円	323,157 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		341,185 千円	333,199 千円	323,157 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	生ごみの処理単価		円/t	計画 37,800	37,600	37,400
				実績 41,745	44,461	41,024
				計画		
				実績		
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
<p>・施設の安定稼働及び運営改善等を構成市町として検証し、処理経費の削減を検討した。</p> <p>・生ごみの分別徹底や浅麓エココンポの利用促進について、広報こもろ等により住民へ周知した。</p> <p style="text-align: center;">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>・今後の施設運営のあり方について、担当部課長会議や担当係長会議で検討する。</p> <p>・メディアを活用し、住民に生ごみの処理状況について情報を提供する。</p>						

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量化と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
収集運搬運営事業		継続		2			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課		1:無			
事業概要	・一般廃棄物等の収集運搬						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		102,917 千円	91,497 千円	137,897 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	552 千円	7,791 千円	550 千円		
一般財源		102,365 千円	83,706 千円	137,347 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	収集及び運搬単価		円/t	計画	15,600	15,400	15,200
				実績	18,832	19,044	19,384
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<p>・収集業務の受託事業者と定期的に打ち合わせを行い、現状や課題の情報を共有し、集積所の不適正排出への対応や、ごみの減量化に向けた取組などについて検討を行った。</p> <p>・集積所の不適正排出について、警告シールや掲示物、ごみ資源収集カレンダーを活用し、分別指導を行った。</p>							
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>・収集ルート及び収集方法の効率化を図り、収集及び運搬業務に係る経費の削減を図る。</p> <p>・お知らせシールを活用し、排出ルール徹底を図る。また、住民の目線に立ち、お知らせルールの記載内容を検討し、より効果的なものとする。</p>							

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量化と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
塵芥処理施設管理事業		継続		4			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課		1:無			
事業概要	・一般廃棄物の最終処分及び水処理等の適正処理						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		4,289 千円	7,235 千円	3,031 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	361 千円	0 千円	526 千円		
一般財源		3,928 千円	7,235 千円	2,505 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	残渣の埋立量		t	計画	200	0	0
				実績	0	0	0
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<p>野火附廃棄物埋立処理場(エコパークみかげを含む)の適正な維持管理を行った。</p>							
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>野火附廃棄物埋立処理場(エコパークみかげを含む)の適正な施設管理を行う。</p>							

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量化と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
廃棄物減量リサイクル事業		継続		6			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な減量、再資源化施策を検討する市民会議の開催</li> <li>容器包装物等資源物の適正なりサイクル処理</li> </ul>						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		9,277 千円	8,621 千円	7,603 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		9,277 千円	8,621 千円	7,603 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	ごみ減量アドバイザーの人数		人	計画	17	15	15
				実績	15	12	10
				計画			
				実績			
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>区や各種団体の会議等にごみ減量アドバイザーを派遣し、ごみの減量に関する出前講座を行った。</li> <li>ごみ減量アドバイザーが、クリーンヒルこもろの環境学習スペースの掲示物を新たに作成し、資源物のリサイクルや燃やすごみの減量など、施設見学者に対する環境学習の推進を図った。</li> <li>ごみの減量化に向けた今後の活動方針について検討し、事業計画を立案した。</li> </ul>							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> <li>区や各種団体の総会等でごみ減量アドバイザーによる出前講座を開催する。</li> <li>ごみ減量アドバイザーと衛生自治会の意見交換会等を行い、両者の連携を図る。</li> <li>地域におけるごみ減量アドバイザーの人材発掘とその育成を行う。</li> <li>資源物の安定的かつ経済的なリサイクルについて情報を収集し検討する。</li> <li>食品ロス削減やプラスチックごみ対策等について、国や県の計画と取組を踏まえ、事業を検討する。</li> <li>ごみ減量アドバイザーと事業者の意見交換会等を行い、情報共有を図るとともに、事業系ごみ削減の取組へつなげる。</li> <li>資源回収報奨金制度について、その目的と成果、費用対効果を検証し、今後のあり方を検討する。</li> </ul>							

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量化と再資源化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
クリーンヒルこもろ運営事業		継続		1			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課		1:無			
事業概要	燃やすごみの焼却及び資源物のリサイクル処理						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		235,284 千円	245,462 千円	263,714 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	128,966 千円	119,513 千円	123,787 千円		
一般財源		106,318 千円	125,949 千円	139,927 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	家庭系燃やすごみの年間排出量		t	計画	4,005	4,000	4,890
				実績	4,886	4,897	5,091
	事業系燃やすごみの年間排出量			計画	2,010	2,001	1,991
				実績	2,194	2,210	2,215
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>排ガス自主規制値を順守した施設運営を行った。</li> <li>クリーンヒルこもろの環境学習スペースを活用し、環境学習を行った。</li> <li>事業系ごみ(燃やすごみ)の搬入時展開検査を定期的実施し、事業者への分別指導を行い、事業系ごみ(燃やすごみ)の減量化を図った。</li> </ul>							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> <li>運営モニタリングにより、業務実施計画書及び業務計画書に基づく業務の履行について確認する。</li> <li>クリーンヒルこもろの環境学習スペースについて、掲示物を適時更新し充実させ、環境学習の拠点として活用する。</li> <li>毎月1回、事業系ごみ(燃やすごみ)の施設搬入時展開検査を実施し、排出事業者及び収集運搬許可事業者に指導を行う。</li> </ul>							

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-1 ごみの減量化と再資源化を進めます

		事務事業名		新規・継続	
清掃総務費給与費				継続	
		会計・款・項・目		所管課	
一般会計・4衛生費・2清掃費・1清掃総務費				生活環境課	
投入 指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度
		年度別事業費	69,572 千円	65,956 千円	37,402 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	69,572 千円	65,956 千円	37,402 千円	

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
施策 2-2	省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

所 管	生活環境課
関 連	都市計画課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

二酸化炭素(CO2)などの温室効果ガスによる地球温暖化の影響とみられる、異常気象や生態系の変化などが、世界各地で報告されている。このCO2を削減するため、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及促進が求められている。この対策のひとつとして、市民・事業者の環境に対する意識を高めていく必要がある。また、太陽光発電の推進は、今ある自然環境や景観との調和を図る必要がある。

◆方針

目的
今ある自然景観を守り育て、持続可能な地球環境にやさしいまちづくりを推進する。 市民・企業・行政が環境に対する意識を高め、それぞれの役割と責任を認識し、条例等に基づき自然環境や景観との調和を図りながら、太陽光や小水力などの再生可能エネルギーの活用を促進する。

◆令和元年度重点方針と目標

事業用太陽光発電設備設置に係るガイドラインを見直し、自然環境や景観と調和のとれた再生可能エネルギーの利用を促進する。また、事業者を対象にISO等の認証取得を推進し、環境に配慮した事業活への転換を目指す。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①地球温暖化など、市民の環境に対する意識が高まっている状態。 ②省エネルギー機器の普及が促進され、再生可能エネルギーが活用された状態。
設 定 理 由
①市民の環境に対する意識が高まることにより、省エネルギーの推進や再生可能エネルギー活用の促進が図られるから。 ②省エネルギー機器が普及し、再生可能エネルギー活用が促進することにより、温室効果ガス排出量の削減につながるから。

◆実績

令和元年度実績						評価	維持
①ごみ減量化の推進に係る説明会で、市内事業者に対しエコアクション21・ISO14001だけでなく県のSDGs推進企業の登録についての啓発を行った。							
②環境に関する市民意識高揚のため、クリーンヒルこもろなどでの環境学習の推進を図ったが、東日本台風の影響により環境フェアinこもろが開催できず環境学習への参加人数が減少となった。							
③太陽光発電事業の適正な実施に関するガイドライン・指導要綱の施行により地域との合意形成がなされ自然と調和した事業が行われるよう、事業者に対し指導を行った。							

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	ISO14001・エコアクション21などの認証を受けている企業の数						単位	団体
設定理由	各企業が、自らの事業活動が地域に及ぼす影響と社会的責任の重要性を認識し、環境に配慮した事業活動を展開することが重要であるから							
算式							単位	団体
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	18	計画	20	21	22	23		
		実績	18	23	23			
指標名	市民が学ぶ環境学習の人数							
設定理由	環境に対する市民の意識を高めていくには、環境学習を進めることが重要であるから							
算式							単位	人
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	802	計画	886	928	971	1,000		
		実績	1,280	1,041	481			
指標名								
設定理由								
算式							単位	
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		計画						
		実績						

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

①クリーンヒルこもろでの環境学習や、環境フェアなど関係機関との連携を図り環境教育を推進する。							
②太陽光発電設備設置事業者に対しガイドライン・指導要綱に沿った事業の適正実施を指導し、地域との合意形成が成された自然環境と調和した再生可能エネルギーの推進を図る。							

◆個別計画

環境基本計画／共に取り組むCO2削減計画こもろ23(地球温暖化対策地域推進計画)							
--	--	--	--	--	--	--	--

◆特記事項

成果指標の「ISO14001・エコアクション21などの認証を受けている企業の数」について、認証取得の補助事業により企業数を把握していたが、平成28年度をもって補助事業を廃止したため、実数の把握が困難となっている。その為、第11次基本計画では指標の見直しを行う予定。							
--	--	--	--	--	--	--	--

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
環境対策費運営費		継続		1		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・4環境対策費		生活環境課		1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車騒音、河川や地下水の水質、大気汚染等の調査の実施</li> <li>・再生可能エネルギー及び省エネルギーの推進</li> <li>・公害防止監視活動の実施</li> </ul>					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		2,398 千円	5,162 千円	3,066 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	1,695 千円	
一般財源		2,398 千円	5,162 千円	1,371 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	水質や大気等の検査総検体数(年間)	箇所	計画	206	169	169
			実績	169	169	169
	省エネルギー教室・環境学習の参加人数	人	計画	70	160	170
			実績	828	629	60
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境、生活環境の実態を把握するため、河川水質等定期検査をはじめ地下水検査、大気汚染調査等を実施した。</li> <li>・太陽光発電事業の適正な実施に関するガイドライン、指導要綱を改正し、指導を実施した。</li> <li>・オオキンケイギク等の特定外来植物の駆除について啓発を実施した。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■4-1-4-97公害防止監視事業をH27年度に統合■</li> </ul>				
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>自然環境や生活環境の実態把握のため、引き続き河川や地下水の水質および大気の状態調査を実施する。地球温暖化防止のため再生可能エネルギーの利用を促進するにあたり、特に太陽光発電事業については、ガイドラインおよび指導要綱により、自然環境との調和を図りながら事業がすすめられるよう調整を図る。環境保全の取り組みとして、特定外来生物(植物)の駆除にかかる啓発などを引き続き行う。また、生物多様性保全に取り組む住民等と連携を図りながら、市民への周知啓発を行う。</p>						

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
環境衛生費運営費		継続		3		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・5環境衛生費		生活環境課		1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久広域連合への負担金の交付</li> <li>・浅麓水道企業団への負担金の交付</li> </ul>					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		32,654 千円	23,830 千円	31,797 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		32,654 千円	23,830 千円	31,797 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	関係機関が主催する会議の出席回数	回	計画	2	2	2
			実績	2	2	2
	飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金交付件数	件	計画			20
			実績			14
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関に対して必要な経費を負担した。</li> <li>飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助制度を創設し、猫の適切な飼育管理に係る取り組みを開始した。</li> </ul>						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>市民の衛生的で快適な生活環境を維持するため、引き続き関係機関に対して必要な経費を負担する。また、飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金を用いて、猫の不適切管理に基づく生活環境の悪化を防ぐとともに、愛玩動物の適切な飼育管理および動物愛護の意識高揚を図る。</p>						

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
狂犬病予防事業		継続		4		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・5環境衛生費		生活環境課		1:無		
事業概要	・犬の登録及び狂犬病予防注射の実施					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	国・県支出金		377 千円	366 千円	402 千円	
	特定財源	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	377 千円	366 千円	402 千円	
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	狂犬病予防注射の実施率	計画	%	94	94	94
				実績	87	85
		計画	%			
				実績		
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬の登録と狂犬病予防注射接種を徹底するため広報で啓発した。</li> <li>・狂犬病予防注射の実施率向上のため、接種勧奨通知を通常の通知とは別に実施した。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
関係機関である県保健福祉事務所や獣医師会と協力し、飼い犬の登録の徹底および狂犬病予防注射の接種について周知啓発を図る。						

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
高峯聖地公園費運営費		継続		2		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・6高峯聖地公園費		生活環境課		1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高峯聖地公園の管理運営</li> <li>・一般聖地及び合葬式聖地の貸付</li> <li>・清掃手数料の徴収</li> </ul>					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	国・県支出金		7,409 千円	20,124 千円	9,539 千円	
	特定財源	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	7,409 千円	20,124 千円	9,539 千円	
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	維持管理業務に係る月平均作業回数	計画	回	6	6	6
				実績	6	6
	清掃手数料未納者の人数	計画	人	8	8	8
				実績	11	27
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・春秋の彼岸やお盆の時期を中心に、聖地公園内の適正な維持管理業務を実施した。</li> <li>・清掃手数料未納者に対し滞納整理を実施した。</li> <li>・合葬式聖地をふるさと納税の返礼品として登録したことにより使用申込み者が増加したため、合葬式墓地の増設に着手した。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・霊園にふさわしい環境を維持するため、引き続き適正な管理を行う。</li> <li>・清掃手数料未納の解消に向けて、未納者に対して個別に対応を行う。</li> <li>・合葬式聖地の増設工事を実施する。</li> </ul>						

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
不法投棄対策事業		継続		6			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・4衛生費・2清掃費・2塵芥処理費		生活環境課		1:無			
事業概要	・不法投棄の防止対策						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
			665 千円	3,300 千円	2,874 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		665 千円	3,300 千円	2,874 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	不法投棄ごみの回収量		kg	計画	14,000	13,500	15,000
				実績	13,990	15,288	13,258
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄監視パトロール及び不法投棄ごみの回収を行った。</li> <li>・不法投棄多発箇所には、不法投棄防止看板や監視カメラを設置し、不法投棄の防止を図った。</li> </ul>							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関や衛生自治会、区と連携し、不法投棄多発箇所を重点的にパトロールし、不法投棄防止啓発看板や監視カメラを設置する。</li> <li>・ポイ捨てや不法投棄をされない環境づくりに向け、衛生自治会を通して、住民に土地の適正管理について啓発を行う。</li> </ul>							

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
環境美化・緑化対策事業		継続		5			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費		都市計画課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花いっぱい運動の実施</li> <li>・保存木等の維持管理に関する周知</li> </ul>						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
			2,140 千円	1,942 千円	1,932 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		2,140 千円	1,942 千円	1,932 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	花いっぱい運動の参加団体数		団体	計画	76	76	76
				実績	77	79	81
	花いっぱい運動の花苗の配布数		本	計画	55,000	55,000	55,000
				実績	50,578	46,110	37,140
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・花いっぱい運動 参加団体維持のため、広報や各団体へ通知をだし、参加を呼びかけた。 ○参加団体数 R2 81団体(前年度より2団体増)</li> <li>・保存木維持管理事業 広報や各所有者へパンフレットの配布をし、事業の周知を図った。</li> </ul>							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花いっぱい運動について、運動の改善やPRなどに取り組む。また、引き続き市民の方の緑に対する意識の高揚を図るため、参加者からアンケートを取り、今後の取り組みについて検討する。</li> <li>・保存木維持管理事業について、平成30年度から補助金制度が廃止されたため、保存木登録者に対し、更なる理解を求め、保存木指定の目的等を広報やパンフレットの配布などにより周知を図る。</li> </ul>							

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-2 省エネ政策を推進し、今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電の普及をめざします

事務事業名			新規・継続		
環境衛生費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・4衛生費・1保健衛生費・5環境衛生費			生活環境課		
投入指標			令和元年度		
			平成29年度		
			平成30年度		
		年度別事業費	19,862 千円	28,540 千円	31,768 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
地方債		0 千円	0 千円	0 千円	
その他		0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	19,862 千円	28,540 千円	31,768 千円	

政策 2	自然環境を守り、循環型社会の進んだまち
施策 2-3	市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

所 管	下水道課
関 連	生活環境課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

#### ◆現状と課題

小諸市内の生活排水処理事業は、7つの処理場、310kmを超える下水道管と、約2,100基の合併処理浄化槽により運営している。整備状況の指標となる‘汚水処理人口普及率’は98.3%、利用状況を示す‘汚水処理率’は90.6%と、整備拡大の時代から利用拡大と施設管理の時代に移り変わってきている。

今後は、未整備区域153haの利用密度が低い地区での施設整備方法と、利用拡大を目的とした普及促進の方法検討と実施から、利用人口の拡大を図り、効率化と危機分散の相反する課題を整理しながら処理区統合を計画するとともに、膨大な下水道施設を持続可能な設備としていくために、適切な点検・調査と更新をサイクルとした計画の運用を軌道に乗せる必要がある。

#### ◆方針

目的
①個別処理方式による整備方法を選択肢に入れ、未整備地区内の利用予定者の意向確認と整備方法とのマッチングを図る。
②下水道未接続の多くが経済的理由によるものと思われるが、現状の普及促進活動を継続するとともに、集合処理区域内で浄化槽を利用する世帯への接続換え依頼に注力する。
③処理区統合の準備作業となる農集定額制地区の従量制への移行と、長野県単位で取組む‘水みち2015’構想の見直し作業において、処理区の統合方法を再考する。
④作成中のストックマネジメント計画の実行期間となることから、計画に基づいた業務を確実に行う。

#### ◆令和元年度重点方針と目標

特定環境保全公共下水道事業計画区域内の谷地原地区宅地開発予定区域(未普及箇所)において、商工観光課・建設課・上水道課と連携し、汚水管渠工事を実施し、定住促進に寄与する。

#### ◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①当計画期間内に、管路施設の概成を図る。②集合処理区域内で利用されている浄化槽設置世帯に対し、当計画期間内で最低1回の接続換え依頼を行う。③農集八満地区使用料金の従量制への移行を当計画期間内で完了させる。‘水みち2015’構想の見直しを令和4年度当初までに完了させる。④腐食破損する危険性の高い汚水管路の内、当計画期間内において12%の更新工事を完了する。
設 定 理 由
①処理方法と整備時期を明確にできない状況が、下水道事業者と利用者ともに不利益になるため。
②浄化槽の効果は、保守点検・清掃を伴わないと発揮されないことから、集合処理方式地区内においては早期の接続換えが、公共水域の保全に連結するため。
③計画に沿って事業を進めるため。
④管路施設の管理において、最も不安を感じている状況を早期に解消するため。

◆実績

令和元年度実績						評価	維持
○‘汚水処理人口普及率’は0.4%上昇して98.7%へ、快適生活率(汚水処理率)は1.2%上昇して91.8%になった。 ○未普及地区の新たな整備計画の作成を令和2年度より予定しており、準備作業となる課内協議と予算作成を行った。 ○集合処理区域内において、12件(公共地区内11件、農集地区内1件)の浄化槽からの切替工事が行われた。 ○農集八満地区内の6か所の会場において、料金制度移行に伴う説明会を実施した。 ○和田中央幹線内において、約0.4km区間の管路更生工事を実施した。							

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	快適生活率(汚水処理率)						単位	%
設定理由	公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽による汚水処理施設の利用を促進し、暮らしの快適さ満足度の向上と、汚水放流の更なる減少を目指すため。							
算式	単独処理浄化槽利用者を除く水洗化人口÷行政人口＝						単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	85.9	計画	86.9	90	92	93		
		実績	89.2	90.6	91.8			
指標名	松井川雨水排水路(総合体育館付近)の水質調査によるBOD測定値						単位	mg/L
設定理由	公共用水域保全の状況を確認する。(年4回測定 目標値は平均値とする) ※松井川は環境基準値なし。下流千曲川の環境基準(河川)基準値は2mg/L以下(水域類型A)							
算式							単位	mg/L
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	1.23	計画	2以下	2以下	2以下	2以下		
		実績	1.2	1.0	1.2			
指標名	下水道汚水管路の改築延長						単位	km
設定理由	汚水処理事業を継続して運営するため、事業の基盤となる設備の健全化を図る。							
算式							単位	km
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	1.3	計画				0.2		
		実績			0.4			

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

①未整備地区内関係者の下水道利用意向を把握しながら、管路整備計画の調整を図り、結果を次期事業認可計画に反映させる。
②リストの作成により浄化槽利用状況を明確にし、定期的な訪問などにより接続換えを依頼する。
③農集八満地区使用料金の従量制への移行について、周知を図るため区単位での説明会を実施してきており、今後は、組合役員との協議による方法にて意思確認を図る。
④ストックマネジメント計画による更新順位に応じて、施設更新工事を実施する。

◆個別計画

環境基本計画／「水循環・資源循環のみち2015」構想／生活排水処理計画／社会資本総合整備計画／地域防災計画／公営企業経営健全化計画／経営戦略
--

◆特記事項

従来の指標「汚水処理施設未接続家屋数」を、「下水道汚水管路の改築延長」に変更した。
---

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
農業集落排水 収益的事業		継続		5			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
農業集落排水事業会計		下水道課		1:無			
事業概要	農業集落排水事業における事業収益に関すること。						
	使用料の徴収賦課 施設の維持管理 普及促進(接続率向上) 企業債の利子償還 給与費						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		0 千円	332,567 千円	331,683 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	374,389 千円	380,277 千円		
一般財源		0 千円	-41,822 千円	-48,594 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	水洗化率		%	計画	78	84	85
				実績	84	87	88
	農集使用料収納率(現年度)		%	計画	99	99	99
				実績	99	100	100
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>水洗化率 87.8%</li> <li>現年収納率99.5%</li> <li>過年収納率25.5%</li> <li>八満地区従量制への移行に向けて、地元排水処理組合の同意を得たうえで、組合構成区をまわり説明会を行った。</li> </ul>		平成30年度から公営企業会計に移行したため「一般管理費運営費」を「農業集落排水 収益的事業」に変更					
目標の実現に向けた今後の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>各地区の排水処理組合と協力して、未接続組合員に対する普及活動を実施する。</li> <li>使用料等未納者に対する催告を定期的に行い現年収納率の向上を図る。</li> <li>八満地区使用料の従量制移行について、令和5年度の切替えを目指し対象組合員に対する説明会若しくは関係資料の配布を適宜実施する。</li> </ul>							

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
農業集落排水 資本的事業		継続		3			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
農業集落排水事業会計		下水道課		1:無			
事業概要	農業集落排水事業における投資に関すること						
	農業集落排水事業分担金の賦課徴収 企業債の元金償還						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		0 千円	104,531 千円	106,939 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	46,640 千円	44,973 千円		
一般財源		0 千円	57,891 千円	61,966 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	施設管理数		施設	計画	5	5	5
				実績	5	5	5
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
接続率90.5%		平成30年度から公営企業会計に移行したため「施設管理費運営費」を「農業集落排水 資本的事業」に変更					
目標の実現に向けた今後の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>森山地区の公共下水道への統合に向け、処理施設の後利用や接続工事等が円滑に進むよう関係機関と連携した取り組みを実施する。</li> <li>資金計画に基づき適正に企業債元金の償還を行う。</li> </ul>							

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
浄化槽設置整備事業		継続		-			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・2下水道環境費		下水道課		1:無			
事業概要	浄化槽区域(公共下水道の認可区域及び農業集落排水の整備区域以外)における合併処理浄化槽整備を推進する。						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		36,008 千円	20,030 千円	10,649 千円		
	特定財源	国・県支出金	17,767 千円	12,790 千円	6,082 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	18,241 千円	7,240 千円	4,567 千円		
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	浄化槽設置基数		基	計画	51	50	49
				実績	56	40	30
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽設置30基</li> <li>・国の補助要綱に従い「小諸市浄化槽設置整備事業補助金交付規則」の改正及び改正事項の周知を行った。</li> </ul>							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き「小諸市浄化槽設置整備事業補助金交付規則」の改正事項について周知する。</li> <li>・昨今の設置状況を分析反映させた『令和3年度から令和7年度までの循環型社会形成推進地域計画』を令和2年度中に策定する。</li> <li>・合併処理浄化槽の設置について、公共下水道事業及び農業集落排水事業の普及促進と連携した取り組みを実施する。</li> </ul>							

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
浄化槽維持管理補助事業		継続		6			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・2下水道環境費		下水道課		1:無			
事業概要	浄化槽区域(公共下水道の認可区域及び農業集落排水の整備区域以外)における合併処理浄化槽の適正な維持管理を推進する。						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		45,937 千円	31,680 千円	31,521 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		45,937 千円	31,680 千円	31,521 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	浄化槽保守点検実施率		%	計画	100	90	90
				実績	88	95	100
	浄化槽法定検査不適正率		%	計画	3	3	3
				実績	4	8	6
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<p>浄化槽保守点検実施率 99.5%          浄化槽法定検査不適正率 5.8%          浄化槽法定検査受検率 86.4%</p>							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成制度の効果的な周知により合併処理浄化槽の適正な維持管理につなげる。</li> <li>・法定検査不適正判定及び保守点検未実施の浄化槽管理者に対して、指導権限を有する県と連携して早期改善を促す。</li> <li>・公共下水道事業及び農業集落排水事業の普及促進と連携した取り組みを実施する。</li> <li>・申請状況から助成の費用対効果を把握して、今後の有効な補助の在り方(補助区分・額)について検討する。</li> <li>・県が推進する「浄化槽維持管理に係る一括契約」(浄化槽使用者の利便性向上を図るため、保守点検、清掃、法定検査料金を一括で支払・受領する体制の構築)の有効性について、県と協議した上で判断していく。</li> </ul>							

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
公共下水道事業会計繰出金		継続		4		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・2下水道環境費		下水道課		1:無		
事業概要	【繰出金】 ・小諸市公共下水道事業会計に一般会計から繰出金を支出する。					
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		549,845 千円	520,427 千円	498,289 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		549,845 千円	520,427 千円	498,289 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
				計画		
				実績		
				計画		
				実績		
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
前年比22,138千円の減額となった。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
農業集落排水事業会計繰出金		継続		-		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・2下水道環境費		下水道課		1:無		
事業概要	【繰出金】 ・小諸市農業集落排水事業会計に一般会計から繰出金を支出する。					
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		160,350 千円	155,260 千円	154,635 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		160,350 千円	155,260 千円	154,635 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
				計画		
				実績		
				計画		
				実績		
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
前年比625千円の減額となった。						
平成30年度から公営企業会計に移行したため「農業集落排水事業特別会計繰出金」を「農業集落排水事業会計繰出金」に変更						
目標の実現に向けた今後の取り組み						

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
公共下水道 収益的事業		継続		2			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
公共下水道事業会計		下水道課		1:無			
事業概要	公共下水道事業における事業収益に関すること 公共下水道使用料の賦課、徴収 下水道施設の維持管理 下水道の普及促進 企業債の利息償還						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		1,147,410 千円	1,128,180 千円	1,125,653 千円		
	特定財源	国・県支出金	1,833 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	1,243,276 千円	1,217,109 千円	1,197,674 千円		
一般財源		-97,699 千円	-88,929 千円	-72,021 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	下水道使用料収納率(現年度)		%	計画	99	99	99
				実績	99	99	100
	公共下水道等接続率		%	計画	61	62	63
実績				61	62	63	
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
下水道使用料現年度収納率99.5% 公共下水道等接続率63.0%							
目標の実現に向けた今後の取り組み ・施設の適切な維持管理を行うため、ストックマネジメント計画との整合を図る。 ・集合処理区域で利用されている浄化槽設置世帯に対し訪問等による接続向上を図る。 ・漏水みらい小諸と協力して、効率的な収納対策を検討する。 ・構成市町と浅麓污泥再生センターの今後の在り方について検討を行う。							

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
公共下水道 資本的事業		継続		1			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
公共下水道事業会計		下水道課		1:無			
事業概要	公共下水道事業における投資に関すること 下水道施設の建設費 下水道受益者負担金 企業債の元金償還						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		1,130,812 千円	1,006,135 千円	996,925 千円		
	特定財源	国・県支出金	140,567 千円	85,000 千円	108,100 千円		
		地方債	426,400 千円	365,500 千円	393,300 千円		
		その他	151,210 千円	154,426 千円	143,597 千円		
一般財源		412,635 千円	401,209 千円	351,928 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	受益者負担金収納率(現年度)		%	計画	97	98	98
				実績	98	99	97
	汚水管渠更新路線数		路線	計画		2	2
実績					1	1	
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
下水道普及面積1,125.1ha 現年度受益者負担金収納率97.0% 各種工事及び農集森山地区の特環への統合手続は予定通り実施した。(台風19号の影響により一部繰越事業とした。)							
目標の実現に向けた今後の取り組み ・閉塞、道路陥没等の重大事故を回避するべく、ストックマネジメント計画による管路腐食対策工事を行う。 ・受益者負担金及び分担金未納者に対して、随時に催告書を送付(訪問)して現年収納率の向上を図る。 ・約束不履行を繰り返す悪質な未納者は、法律事務所へ委託して回収する。 ・未整備地区の利用者の意向確認を行う。 ・農集森山地区の統合計画に従い管渠工事等を施工する。							

政策 2 自然環境を守り、循環型社会の進んだまち  
 施策 2-3 市内全域の水洗化を促進し、公共用水域を保全します

		事務事業名		新規・継続	
下水道環境費給与費				継続	
		会計・款・項・目		所管課	
一般会計・8土木費・3都市計画費・2下水道環境費				下水道課	
投入 指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		年度別事業費	4,523 千円	3,402 千円	3,856 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	4,523 千円	3,402 千円	3,856 千円	